

平成27年度 第1回安曇野市図書館協議会

1	審議会名	平成27年度 第1回安曇野市図書館協議会
2	日 時	平成27年6月30日 午前10時から正午まで
3	会 場	穂高交流学习センターみらい 多目的交流ホール
4	出席者	内田会長、田村副会長、勝家委員、銭坂委員、望月委員、三沢委員、川名委員、 福澤委員
5	市側出席者	橋渡教育長、北條教育部長、高嶋図書館交流課長兼中央図書館長、青柳豊科図書 館長、山越三郷図書館長、勝野堀金図書館長、百瀬明科図書館長、小林図書館交 流課課長補佐、沖図書館交流課主査
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人	1人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	平成27年7月10日

- 1 開会 (高嶋図書館交流課長)
- 2 あいさつ (会長)(教育長)(三郷図書館長)
- 3 協議事項

(会長)

それでは、(1)平成26年度 安曇野市図書館事業報告について図書館ごとに説明をお願いします。

(中央図書館長)

平成26年度安曇野市図書館事業報告ということで、全館事業から報告します。まず、ブックスタート事業、4ヶ月検診時に本を、「ブックスタート」というパックをお渡しする事業です。親子で図書館に読書に親しんでいただくきっかけになるということで、大事な事業かと捉えています。昨年度、26年度は穂高交流学习センターの開館5周年で、図書館フェスタウィークを設け図書館フェスタと合わせて、様々な事業を行いました。新規の催し物としては、ビブリオバトル、中央図書館長に松本山雅のキャラクター「ガンズくん」に就任していただき好評でした。ボランティアグループ向け講演会ですが、11月9日に開催。「おはなしおばさん」としてご活躍されている「藤田浩子」さんをお迎えし講演会を開催。朗読協力者研修会を年12回開催。音訳技術の向上のために取り組んでいただいています。職員研修を2回開催。前段では4月25日「接遇、倫理研修、データベース研修」であります。後半の10月6日には「紙芝居と手遊びの研修」ということで開催。お話し会で活躍されている「荒木文子」さんをお迎えして研修をしました。図書館協議会を4回開催。配本事業ですが合計で10,478冊の配本をしました。「本のお年玉」ですが、25年度では中央図書館のみ行った事業ですが、26年度は全館に拡大し実施。大変好評で違うジャンルの本を読むとことができ良かったなどのご意見をいただきました。

続いて中央図書館の事業です。「おはなし会」は「おはなしのとびら」「おはなしとしゃかん」子ども読書の日に合わせました「おはなし会」「夜のおはなし会」を開催。「おはなしのとびら」では総勢2,032名、一回44名程度ご来館をいただきました。次に「講座・講演会」です。原田マハさんをお迎えし講演会を開催。申し込みが定員を超え抽選しました。「人生の宝物ー私が導かれたアートと文学ー」ということで講演をいただき大変好評でした。「えほんとうさこのじかん」ですが、毎月第三水曜日に実施。親子で様々な工作を楽しみました。図書館講座は年4回開催。反省課題等がありますが、楽しんでいただいています。映画上映会は毎月第2金曜日に開催。中央図書館所蔵の上映権付きのDVD資料を使った映画会ということで所蔵資料の活用、開催が定着しています。資料展示です。毎月思考を凝らし、テーマ展示ということで力を入れて実施している事業です。職場体験学習は、8校から合計19名の学生生徒さんを受け入れました。会議等で図書館サポーター会議ですが4回開催。50名程度の方に登録していただき、延べ520人の方に活動していただきました。

(豊科図書館)

おはなし会ですが「ちいさいたんぼぼ」「おはなしたんぼぼ」といわゆる乳幼児向けのおはなし会、それから幼児・児童向けのおはなし会という形で実施しています。また、クリスマス会も実施し、サンタクロース登場というような形で、お子さんたちに喜んでいただいています。講座・講演会ですが、講演会は信州の衛星「ぎんれい」について実施。隣の松川村からも中学生が来まして具体的に興味を持った本当に突っ込んだ質問等も出まして深まったという風に思っています。チャレンジ講座は5つの講座を実施。特に「七夕人形」や「天蚕のコサージュ作り」は募集と同時に定員がいっぱいという状況でした。読書会は豊科図書館独自の組織で、4つの読書会が毎月一回読書会をやって、テキストまた講師を迎えて深めています。映画上映会は2回実施。大勢の方に集まって好評でした。資料展示は、近代美術館や現代の課題、交流学习館の関係など、テーマを設けて展示。特に新聞等に載ったのは、依存症関係やアレルギー関係は新聞報道され、多数の貸出がありました。職場体験は中学校・高校、先生、総数12名の受け入れました。

(三郷図書館)

おはなし会ですが、「おはなし会」と「図書館クリスマス会」を実施。ボランティアグループ「ポケットの会」の皆さんにお力をいただき、楽しみにおいでいただく方がいととも励みになっています。またこの会を通して図書館職員が研修で学んだことを生かすことができたという反省があります。講座・講演会ですが、「絵たより講座」と「文学講座」、

二つの講座をそれぞれ4回開催。「絵たより講座」は長く続いていて、楽しみにしている方々が先生と交流を深めたいと思っています。図書館の展示と合わせてこの講座を設けたところ貸出数についても増えたという報告があります。文学講座は合同の実技を講座に取り入れ、大変好評をいただいています。夏休みファミリーコンサートですが、ジャズバンドの演奏を実施。初めての開催でしたが、和やかな雰囲気の中、愉しんでいただけました。参加人数も60名を超えました。資料展示ですが、季節や行事、トピックに合わせてまして館内の資料を用いて来館者の皆様に注意を向けさせていただくような、配置をしました。職場体験学習は隣の中学校の生徒二人がきて、実際に図書館の仕事をしていただき、大変興味を持って、一所懸命取り組んでいただきました。将来の職業選択の一つにはいっていただけるかなという実感が持てました。

(堀金図書館)

「おはなし会」は「乳幼児向け」と「幼児以上」と分けています。「乳幼児向け」は非常に盛り上がり、さらに和との広がり、有意義な時間となっています。しかし、幼児以上のところが課題だと思っています。中々人が集まってこない、この現状をどういうふう工夫をして充実したおはなし会になるか、ここを課題としながら今年度は頑張っていきたいなと思っています。講座ですが「絵本わくわく講座」を「おはなしパレット」と「おはなしつむぎい」とのそれぞれのグループに2回づつお願いし、年に4回実施。3月に行われた「おはなしつむぎい」の学生、高校生による読み聞かせとおもしろ実験は目新しく非常に関心が高かったです。資料展示は旬な話題としながら適時に色々な資料を紹介し、非常に関心を持たれる展示となっています。ますます親しみやすい図書館を目指していきます。

(明科図書館)

まず「おはなし会」ですが、児童館併設ということで児童館にも力も借りながら、土曜日に実施。本来、自由来館の子どもさんが対象ですが、いろいろ工夫して職員が手遊びとかカードとか配布しながら行っています。ひまわり講座は、年6回実施。司書が講師になり、身近なもので作って遊ぶことを行っています。ひまわり講座の切り絵というのが今年で4回目。人数も減っていますが「無料で教えてくれて非常に良いです」という言葉も参加者からいただきました。次にジャズコンサートやクリスマス会をおはなしボランティアの方々のご協力をしていただいで開催しました。朗読紀行「おいしい信州ふード」を開催。明科図書館だけでなく安曇野市図書館と県図書館協会の協力、軽井沢町図書館長の青木裕子さんを招き開催し、大変好評でした。企画展示等ですが、明科図書館は、一階は児童対象、二階は一般とコーナーを分け「来館の方たちに見ていただきたい」ということで実施しています。職場体験は、明科中学と会田中学校と受け入れられました。

(事務局)

事務局から26年度図書館統計について報告します。入館者数・新規登録者数・貸出人数・貸出冊数・蔵書点数を館ごとにとまとめました。26年度の入館者数は361,541人で、昨年と比べると2万人ほど減。新規登録者数は2,431人。26年度末の登録者数は全体で36,668人。安曇野市の人口が約9万8千人ですので、約37%となり、3人に1人が図書館に登録していただいています。男女比率でみると、6割の方は女性。貸出人数は189,492人で、前年度比、約1万人減という状況です。貸出人数の内訳をみると、6割が40歳以上となっています。26年度に実際に貸出された冊数は743,770冊。その内、中央図書館が約65%占めています。全体の貸出比率ですが3分の2は女性の方で、その内、30歳から50歳までの方が5割を占めています。平成26年度の統計をみると、昨年と比べ全体的に減少。中央・豊科図書館が新しくなり5年が経過しますが、少し落ち着いてきているのかなと思います。先ほど事業報告をしましたが、さらに図書館の利用を高めるために、魅力的な蔵書・選書、図書館サービスの拡充、各年齢層を考慮した講座や図書館フェスタの開催、そして広報活動等々に力を入れながら市民の皆さんにもっと図書館に足を運んでもらえるような施策を考えていきたいと思っています。

(会長)

ここでご質問等ございましたら出していただければと思います。

(委員)

「ブックスタート事業」についてお伺いします。私、「おはなしムーン」という団体が豊科保健センターにブックスタートのお手伝いに行くことがあります。他の検診場所でのボランティアの役割など分かりましたら教えてください。

(事務局)

中央図書館は穂高保健センターの方へ出向いてブックスタート事業を実施。中央図書館の職員が訪問して2種類の図書を検診者の方に提供し、読み聞かせ等を実施しています。豊科地域は、豊科・明科の検診者が豊科保健センターに集まり、堀金・三郷地域は、三郷保健センターで実施。市内では3か所で実施しています。豊科地域では多い時で30名くらいになる時もあります。検診を待っている間にそれぞれに回り、本を読んでいただいています。穂高地域では図書館職員が出向いてブックスタートの2冊の本を読んで聞かせて、どちらの本を選ぶかという形をとっています。他のいろいろな赤ちゃん向けの本は保健センターの広場に置いて自由に読んでいただけるという形を穂高地域で実施しています。

(委員)

検診時は歯科検診や注射、問診があり、すごく忙しい。読み聞かせをするとき「こんなにちっちゃい頃から読み聞かせ始めて良いんだね」とママさんによく言われます。できれば読み聞かせそのものを伝える楽しさ、親御さんが楽しんでくださることをお伝えする為にも、他地域のセンターのスタッフなど、ボランティアの展開があればと思います。

(会長)

ありがとうございました。ご意見等ございましたので検討していただければと思います。

(委員)

事業報告や統計を見ると、すごく図書館を利用していただいています。団体貸出が10,478冊となっており、これからの図書館の役割として必要だと思いました。統計で、貸出人数が189,492人ですか、安曇野市人口を10万とみても、ひとり20冊平均借りて、凄いです。また、30代の女性が多いということ。貸出や利用の本の内容が、どういうジャンルというか、その辺のところも見えてくると課題だとか展望だとか方向性のようなものが見えてくると思います。利用者にどんな本が市民に望まれているかという事がお分かりでしたらお願いしたいと思います。

(会長)

3分の2が女性で、30代から50代方がということなのでそんな中、ジャンルとか、そんなことが分かればというご質問ですが如何ですか。

(事務局)

やはりどのような要望があるかという事は例えば「リクエスト」等で広く受付をしています。色々な話題の本や実際に好評をいただいている本等を選書しています。課題として、10代後半～20代前半の方の利用が少ないということで、昨年度の途中から中央図書館の方でもヤングアダルトというようなコーナーを作り、力を入れています。全体を集約し、利用者のニーズを把握しながら進めていきたいと思っています。

(委員)

ブックスタートの本の選書について、教えていただけたらと思います。

(事務局)

ブックスタートの選書について「全国ブックスタート協会」で推薦する図書の中から、5館の図書館職員が選書をしています。ブックスタートはお母さまとお子様の本を介してスキンシップを取るのが一つの目標でスタートした事業です。

(会長)

よろしいでしょうか。先ほど委員の方からも提案がございましたので、今後データ取りなどをご検討いただいてご質問に答えられるようにしていただければと思います。

(委員)

統計を見た時に、前年、その前の年、段々、来館者数が年々減っています。文字離れとか関係ある、人口も安曇野市の場合、若干減っています。どういうジャンルがどのくらい借りられているのかデータをとっているのかお聞きしたい。やはり選書の時に大事になってくると思います。また、図書館は本を借りて読んで欲しいという思いがある。先ほど若年層が少ないという話がありましたが、学校の図書館と連携をして、学校の時から本を借りるような構造も考えていくことが大事なかと、この数字を見て改めて思いました。

(会長)

ジャンルとか年齢とかデータを取っているかというご質問がございましたがこの辺は如何でしょうか。事務局の方で。

(事務局)

データについては取っています。どういったものが良く借りられているのか、年齢層などデータも毎年取っています。本日は概略の部分の報告をしましたが、ご指摘のあった部分をしっかり分析し、館ごとの状況も違うようなところもありますのでその辺も踏まえて、今後の図書館事業につなげていければと思います。

(委員)

図書館に来るか来ないかは、各家庭の習慣の違いが大きく関わっていて、来る家庭は「週末になったら図書館」とか、未就園児であれば「図書館に遊びに行く」という習慣が出来ていると思います。どうしたらその取り込みたい年代、層が来てくれる動機づけになるのかというのを少し分析したり、考えたり、また、全国の図書館がその層を取り込むためのどんな働きかけをしているのかというのを、少し調査をすると良いのかなと思います。

(会長)

委員さんから取り組みについてご提案がありましたので事務局で参考にして検討していただければと思います。

(委員)

学校現場として、例えば、休み時間に安曇野市内の「おはなしの会」の方たちが定期的に来ていただいたり、本を紹介していただいたりできないでしょうか。出張出前講座のようなものが可能ならば、やっていただければありがたい。もう一点、地域の高齢者の方との関わりとして、学校図書館を地域の方に開放することを検討しております。地域のおじいちゃんおばあちゃん達から生の話をしていただき、そういった生涯学習の拠点になればと思っています。

(会長)

貴重な取り組みの提案いただきましたが、事務局の方でも検討していただければと思います。

(委員)

「朝の10分読書」ってどこの学校にもあるのでしょうか。朝の10分読書用おすすめ図書を学校に紹介すると良いかと思います。朝の10分読書に図書館の本を借りて活用できるシステムを考えられないかなと思います。子ども達が喜ぶような自分の人生のシナリオにプラスにしたいという視点の本を選んでいくと心の方も良い影響を与えられると思います。また、子ども達から募集したものを絵本にするというイベントをすれば、良いのかなと思います。

(会長)

貴重なご提案をいただきましたので、関係部門でご検討いただきたいと思います。10分間の読書というのは安曇野市全校であるのでしょうか。

(委員)

どこの学校でも朝の読書は位置づけられていると思います。ただ、学校によっては実態が違ってくるかと思いますが、「やっていない」という学校はないと思います。

(会長)

ありがとうございました。是非ご検討をいただきまして実施できればと思います。よろしくお願い致します。

(委員)

大体自発的に読み聞かせのボランティアの団体が結成されていると思いますが、市も中に入っただき、ボランティアの読み聞かせグループの発足に、お手伝いをいただければ、色々なところに回ることもできるのかなと思います。

(事務局)

年に数回、図書館に關係するボランティアグループの連絡会議というのを開催しておりますので、先ほどいただいた提案等を話題としたいと思います。

(委員)

「図書館サービス」という時代に入っていると感じます。配本サービスなど図書館に来られない子ども達、大人、高齢者にとってありがたいなと思いました。また、安曇野には図書館が5つあります。5つの図書館で特徴づけが出来れば良いと思います。

(委員)

安曇野市ほどたくさんの美術館がある所はないと聞いていて、私は全国の絵本館のリストを作って片端から行きましたが、それを見ても安曇野市は絵本の街です。せっかく絵本の街なので、安曇野市といえば絵本の街と言えるほど知的財産を持っていますが、それを活用されていない感じがします。

(会長)

ありがとうございました。それでは、第一の議案は閉じさせていただいて、第二の議案に入りたいと思いますがよろしいでしょうか。それでは(2)の安曇野市新図書館整備基本計画(報告書)について事務局より説明をお願いします。

(事務局)

新図書館整備基本計画についてご説明します。現在、堀金図書館整備の提案と、今後の図書館の運営計画、運営体制につきましても再度見直しが必要ではないかということ、それから学校図書館との連携等について、報告書にまとめました。まず、図書館サービスの現況と課題の整理ということで、現在の市の図書館の貸出数であるとか状況についてまとめ、その中でどのような課題が現在、市の図書館にあるかということです。図書館施設に関わる課題としては、「うるおいと憩いがあり、気軽に市民が本に親しめる地域図書館の整備」ということで、堀金・三郷図書館を整備しています。それから、機能サービスの課題として、資料や情報を入手する手間や時間を、より簡便にするサービスの展開を課題にしています。図書館運営について、カウンターの貸出返却業務の迅速化、コスト削減などの有効な手段の導入、図書館活動PRの充実というような課題をあげています。

課題の解決策として、施設面では新しい図書館の整備と共に、既存の施設についても例えば自動貸出機の設置の拡充、機能サービスの面ではボランティア等の役割の見直し等、今後、市も掲げております協働の街づくりという面で取り組みが必要。運営面では、システムの導入と共に、運営形態の見直し、民営化等の検討も必要ではないか、その他として電子書籍等の導入とか子育て支援と協働事業の検討をしていく必要がある、三郷・堀金図書館の現況と課題の整理ということで新しい図書館の建設に向けての取り組みについて、新しい図書館の基本方針として図書館基本計画が現にありますが、「地域の教育力の向上」ということで学校図書館の支援の充実をさせていく必要がある。図書館利用について、障害がある方への支援という部分で新たに自宅への配本、最新の電子書籍の配信等のサービスを検討が必要。市の歴史の伝承ということで郷土資料のデジタル化やアーカイブ化を図って講座等と連動することで、学校との連携が図れます。新図書館の施設の整備計画ですが、地域館については規模、地域性、機能に応じた蔵書構成の図書館整備と共に、5つのそれぞれの図書館の特徴付けとして、三郷は特に小中学校の児童生徒さんに喜んでいただけるような図書館に、堀金図書館は就学前の乳幼児の方をターゲットにした図書館整備、豊科図書館は、近代美術館に隣接していますし、山岳関

係の図書等も収集。中央図書館はオールマイティに収集をしています。現在、堀金図書館については実施設計が終了し、7月に建設工事の入札がされ順次工事を進め、来年3月を目標に工事が完了する予定です。三郷図書館は現在実施設計に入っています。基本計画の中で示されたものを基本にさらに詳細な部分を現在つめています。まとまったところで地元の説明会等も行い周知をしていく予定です。

また、図書館の管理体制です。現行の開館時間について、土日の開館時間の延長、休館日をもっと減らして欲しいといったご要望があり、これについては5館整備が整った段階に合わせ練り直しをしていきたいと考えています。職員については専門的な研修を実施しスキルアップを図りサービスの向上を図っていく必要があります。その中の課題として民活の導入について、その可能性について触れています。多様かつ高度なサービスを提供するためには、専門性の高い職員を確保し効率の高い運用を行う必要があります。その中で民活の導入によってサービスの向上とコスト削減の可能性について、安曇野市でもアウトソーシングに関する指針が示されています。民活導入手法として、業務委託、一部業務委託、PFI、これは施設の建設から運営について民間資金を活用して実施するという方法です。3番目に指定管理、最近では市の施設、児童館等も指定管理という形で運営方法が変わっています。この中でも一般的なものは指定管理が一番導入実績としては大きいという状況です。その選択肢の中から安曇野市は「指定管理」が最適であるという提案をいただいています。また、専門的な知識の積み重ねがサービスの向上に繋がっていくということで、継続的な雇用を考えていくことが必要である、それについては直営では限度があるので、民活を導入することによって安定的な雇用も期待できたり、専門スタッフによる研修でスキルアップが図れたりできるということがあります。学校連携で市内小中学校17校ですが、昨年度、現状の調査をしましたが、適正な配置が必要ではないかという提案をいただきました。学校図書館と公共図書館の連携について、今後安曇野市としてどのような方向に持っていくのがよいか、好ましい方向、色々なご意見を伺って進めていければと思います。

本日、今回初めて提案させていただきましたので、ご意見を伺う中でさらに、次回また少し突き詰めた話をさせていただき、今後の方向性を決めていきたいと思っています。そんな中で先進地視察として、例えば指定管理を実施している図書館と比較を行い、現状等を見ていただき、さらにご意見をいただくことを考えていきたいと思っています。報告は以上です。いろいろなご意見をいただきたいと思っています。よろしく願います。

(会長)

何かご質問等、お聞きしたいことございましたらお願いいたします。

(委員)

蔵書冊数ですが、松本・長野は大都市ですから絶対数が多い、松本には信州大学の本部、医学部、考古学等ありますので多いのは分かりますが、飯田や塩尻が蔵書をたくさん持っているが、これは何か理由があるのか。

(会長)

もし今後調べて状況等わかりましたら何かの機会にご説明いただくという事でよろしいでしょうか。他にありますか。

(委員)

是非お願いしたいのが「Wi-Fi」の設置です。ICT化（コンピュータ化）という学校にiPadを導入したり、図書館でiPadの貸し出しをしたり、伊那市はそれに取り組んでいます。全小学校でiPadの導入し、図書館でもiPadの貸出をしたり、安全な使い方の講座をしたり、取り組まれています。「Wi-Fi」ですが、私もパソコンを持ち歩いて仕事をしています。この「みらい」に来ると有線のケーブルは貸していただけるのですが、無線が飛んでいないので一日過ごす選択肢の中に入りません。今までここに来館しない層という中にも、無線があれば来るという方々が多くいると思います。できれば全館に導入していただければと思います。

(会長)

Wi-Fiの設置をお願い出来ないかということでございました。市全体としてWi-Fiの設置をどう考えていくかという事だろうと思います。事務局の方で一つの提案として考えていただければと思いますのでよろしく願います。

他にございますでしょうか。それでは「基本計画」については締めさせていただきますのでよろしく願います。続きまして、4. 報告事項 (1) 読書通帳について事務局願います。

(事務局)

昨年末の図書館協議会の中でもご報告をしましたが、この5月1日から読書通帳を配布しました。読書に親しんでいた、たくさん本を読んでいただくきっかけになって貰えればということで配布しました。市内の小中学校へも「読書通帳」を配布しました。集計表を各館ごと、年代別にまとめ、三郷図書館は休館中のため、4館で504件（6/25現在の配布となっています。前回の協議会で「達成感が感じられるものを」ということでご提案をいただき、50冊と100冊貯めたところでスタンプを用意し、喜びを感じていただけるようなものを考えました。今後読書通帳の意欲・向上、または図書館利用の促進ということで引き続き進めていきたいと思っています。

(会長)

今、事務局の説明がございましたが何かご質問、またはご意見等、ご提案も結構ですがございましたら願います。よろしいでしょうか。それでは、これを持ちまして協議会を閉じます。